



11 24 → 12 2

営農計画樹立説明会

新年度の営農計画樹立に向けて、6地区で説明会を開催。昨今の厳しい酪農情勢に自らの経営管理に対する意識を高めることを確認。

11 28

女性部50周年式典

設立50周年という大きな節目を迎えたJA計根別女性部。この輝かしい歴史を祝して、女性部、農協、関係機関ら約100名により記念式典が挙行された。



11 1

ロール看板設置



営農計画樹立に向けて 経営管理の意識を高めて



計根別地区



本別地区



酪農情勢と基本方針を話す額組組長

計根別農業協同組合では、新年度の営農計画書樹立に向けて、十一月二十四から十二月二日の日程により、各地区協議会（六地区）単位で営農計画樹立説明会を開いた。

説明会は、各地区会館にて開かれ、組合員約百名が出席。額組組長から昨今の厳しい酪農情勢や新年度の営農計画樹立基本方針などが話され開会となった。その後、提出された議案は各担当部長から詳細を説明。出席した組合員さんから多くの意見、要望が出され、新年度の農協事業に大きな期待が寄せられた。

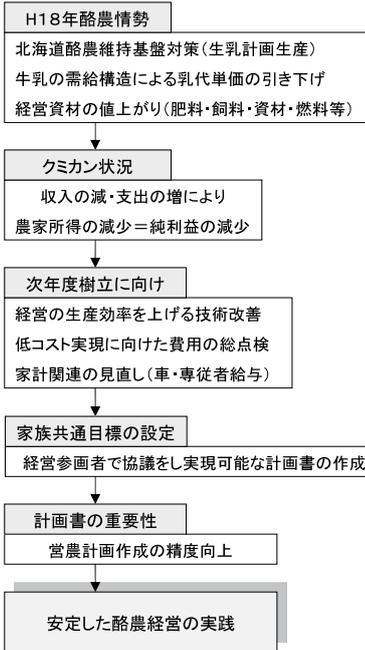
最後に、額組組長から「新年度は、組合員個々が所得を把握して、自らの経営管理に対する意識を高めて欲しい」と話され閉会となった。



養老牛地区

平成19 営農年度 計画樹立基本方針

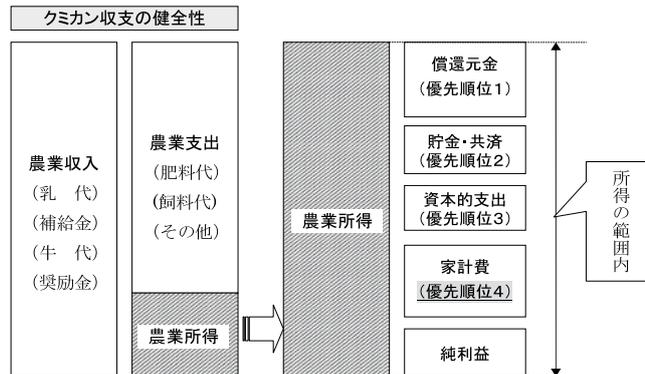
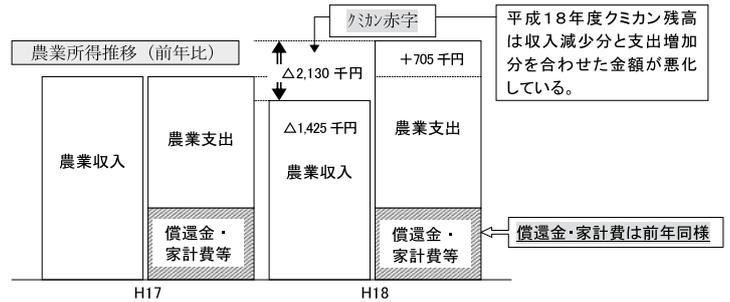
生乳計画生産環境下での経営安定化を目指すため家族一丸となって 経営・生活の両面から改善に取り組む



身の丈って何？

身の丈にあった生活とは

農業収入から農業支出を差引いた金額が農業所得であり、その農業所得の中から償還金・貯金共済・資本的支出を払い、残りが家計費(食費・光熱費・燃料代・交際費・車両費・教育費等)となります。節税が建前の専従者給与の見直しを行い計画生産状況下での所得の範囲内で生活する習慣を身につけましょう。



第25回 J A 北海道大会

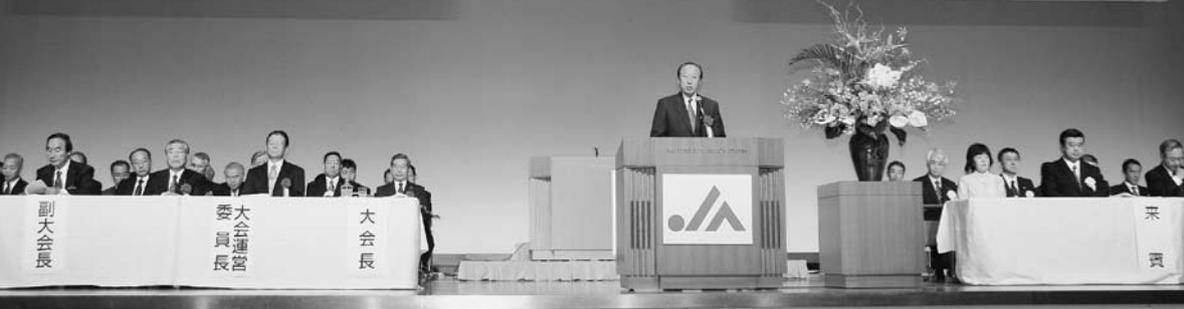
共に創る「北海道農業とJAの新時代」

第二十五回

J A 北海道大会

新たな時代に向けた
北海道農業のステップアップ

変革の波を乗り越える
活力のあるJAづくり



J Aグループ北海道では、北海道農業の振興とJ Aグループ北海道の組織・事業機能強化に向けて十一月二十一日札幌市で第二十五回J A北海道大会を開いた。

大会には、瀬瀬組合長、各地区協議会代表者ら八名が出席。開会を告げるJ A北海道中央会宮田会長から「道農業は担い手の多様化などの構造変化に加え、農業政策の大転換期を迎えている。今後もW T O農業交渉などの行方が心配されるところであり、道農業としては生産基盤づくりに挑戦し、それを支える活力あるJ Aづくりに取り組



む」と話した。

また、道内四J Aの代表理事組合長が、それぞれ提案された決議案に賛同の立場から、決意を込めた意見表明がなされ当J A瀬瀬組合長が牛乳乳製品の需要回復、担い手支援、J Aグループの機能分担と適切な支援を訴えた。

最後は、国際化が進展するか、組合員がJ A運動の主人公であるとの協同組合理念を再確認し、道民の信頼と支持を得て、組合員とともに新たな時代に積極果敢に挑戦する道農業とJ Aを創っていくことを決めた。

瀬瀬組合長が意見表明



チーズ増産と

J Aグループの

総合力を発揮して

輸入乳製品との代替による国内需要拡大と飲用乳の需要喚起は最大の課題。しかし、チーズ工場の新設という明るい兆しもあり、安定的生産拡大と手取り乳価の確保はJ Aグループ北海道の使命となり、今こそJ A、連合会の実践力が問われる。また、営農指導、信用、購買、販売など総合力を発揮して、各事業単独の有利性を実現しなければならぬ。さらに、組合員が実感できる営農コスト低減に向けた事業方式の見直しが必要と訴えた。

五十年の歴史を弾みに

J A 計根別女性部 五十周年式典



歴代部長を代表して伊藤春子さんから謝辞



歴代部長表彰では記念の賞状と花束が贈られた



開会を告げる西丸部長



参加者全員で女性の唄を斉唱!!
大友佳子さん大活躍!!



歴代部長表彰者
(左から 水沼和子さん、伊藤春子さん、笹島育子さん、北村照子さん、相澤せつさん)



この日の料理は「大和殿」、
参加者から大好評



アトラクションでは
「知床流酪農太鼓」が大人気!!



閉会挨拶をする宍戸悦子実行委員長

J A 計根別女性部では、設立五十年という大きな節目を迎え、この輝かしい歴史を祝して十一月二十八日中標津町交流センターにて設立五十周年記念式典を開いた。

この日は、農協、関係機関、女性部員ら約百名が出席。西丸部長の挨拶により開会され、歴代部長の表彰式となった。歴代部長を代表して伊藤春子さんからの功労者謝辞「十四年間女性部長を勤められたのも部員皆様のおかげです」と感謝の言葉が贈られた。来賓祝辞では、継続組合長から「食の安心・安全、環境と調和のとれた農村社会づくりに取り組み、今後も大きな期待をしています」と話

され、続いて西澤町長、水沼会長（地区女性協）、宍戸部長（青年部）それぞれから祝辞を頂いた。

その後、J A 中央会菅野支所長の乾杯で祝宴となり、料理を食べながら、それぞれのテーブルで女性部の活動が語られ、参加者全員で五十年の歴史を祝した。

また、式典には本別地区からのアトラクションとして「知床流酪農太鼓」が披露され、出席者から「おひねり」が飛び交うほど会場は盛り上がった。

最後は、宍戸悦子実行委員長から「このたびの五十周年記念事業は昨年からの準備を重ね、部員全員で取り組んできました。これまで女性部を支えてくれた農協や各関係機関の皆様には深く感謝します」との閉会挨拶がなされ、西塚副組合長の万歳三唱で閉会となった。

第48回全道JA女性大会、北海道家の光大会

JA計根別女性部

11月7～8日の2日間にわたり、ド・レーゼンサッポロにて「全道JA女性大会、北海道家の光大会」が開かれ、当女性部から2名（株田敏子、渡辺初美）が参加しました。



地域が抱える課題に 活発な意見が出されて

監事 株田 敏子

大会初日「全国女性農業者出産、育児サポート推進シンポジウムin北海道」では、育児サポート活動についてJAグループの取り組みと今後の課題となる少子高齢化や子育て支援の問題が挙げられた。

また、十文字学園女子大学人間生活学部幼児教育学科教授上垣内伸子先生を講師に「次世代につながる子育ての知恵」と題した講演を聞き「農業者は自然と相対し、命を育むことで自らも生きていく。だから日常の交流で子供たちに命の大切さ、生きることを伝えられる」と貴重な考えを学びました。

二日目は「絆を深め農の心を未来へ」をテーマとして、伝統の知恵を拓き、次世代に繋ぐ「食」と「農」、明日に繋ぐみんなの「和」と「輪」と題した講話を聞くこととなった。ここでは、地産地消運動の実践として、それぞれの風土にあった食材や料理を大切にしていくことが重要と話された。また、家の光を愛読することで家庭、農業、地域が明るく元気になる。さらに、JA運動と生活文化の教育誌として位置づけられていることから、JA組織活動のヒントや情



大会に参加した株田監事と渡辺監事

道内農産物の 消費低迷を知る意見交換会

監事 渡辺 初美

大会初日は「次世代につながる子育ての知恵」と題して、パネルディスカッションが行われ、祖母、父、地域での子育てについての発表がありました。懇親会では、各地区からのアトラクションで会場は大いに賑わいました。

二日目「絆を深め農の心を未来へ」をテーマに家の光表彰や家の光体験発表が行われた。また、展示コーナーには当JA女性部から末広香さんの作品が出品され、とても素敵なものでした。

さらに、意見交換では牛乳の消費低迷だけでなく、砂糖や澱粉など農産物も同様と知り、考えさせられることばかりでした。

最後に一言

農産物を食べ、牛乳を売る
これが「農業のつながり」
なるほど！



大会でパフォーマンスを披露する水沼会長

部員が講師を務め、 自慢料理を披露

第32回北根室地区農村女性講座



レシピを見ながら調理を始める女性部員

十一月一日、中標津町総合文化会館しるべつとにて、第三十二回農村女性講座が開かれ、当女性部から十一名の部員が参加した。

講座は『酪農母さんご自慢レシピ』と題して料理講習会が行われた。各JA女性部員から一名が講師となり、家庭で作られている乳製品を使った料理レシピを提供、作り方の説明を行った。

当JAからは、大成地区の渡辺 広美さんが講師を務め「なんちゃってグラタン」を紹介した。

このグラタンは、フライパン一個で出来るため参加者からも大好評。ある参加者から「居酒屋のメニューにした方がいんじゃない」と言われるほどでした。

また、西竹地区から星野輝子さん手作りのアイスクリームとチーズケーキが提供され、参加者も大満足。試食後には、意見交換会も行われ「消費者交流で得たもの、学んだもの」と題して活発な意見交換が交わされるなど充実した内容での農村女性講座となりました。

牛乳を学び、 乳製品料理で大好評

第34回別海町酪農女性のつどい



大好評となった乳製品料理試食会。鮭のムニエル最高!!

十一月二十二日、別海町中央公民館で第三十四回別海町酪農女性のつどいが開かれ、当女性部から九名の部員が参加した。

この日は、午前中から『牛乳を科学する』最近の知見から健康と牛乳を考える』と題し、吉濱誠氏（雪印株式会社コミュニケーション室室長）による講演となった。

吉濱氏から①牛乳の栄養②牛乳は体に良いか？③牛乳を飲むと健康に長生きするか？の三点を中心に講義を聞くことになった。

午後からは実演『牛乳・乳製品を使った料理・デザート』の試食会となり、五JAによる試食会が行われた。当女性部からは①きつまいものディップバター②リングのディップバター③鮭のムニエルバターソースかけの三品を出品した。

試食した女性部員から、どれも美味しいと評判であり、特に鮭のムニエルは「高級感があっていいね」と大好評でした。

お花講習会で リース作り

JA計根別女性部



2種類のリースづくりに取り組む女性部員



講師を務めた清里町「花いちもんめ」さん



十一月十七日、JA計根別女性部では、農協ふあーまつくを会場としてお花講習会を開き、女性部員二十五名が参加した。

講師には、清里町の「花いちもんめ」さんを招き、用意された二種類のリースをどちらか一方選び、部員それぞれが好みのリース作りに取り組んだ。

参加した部員は、講師の説明を良く聞き、積極的に作品づくりに取り組んだ。今回初めて参加した人やベテランの人もみんなでおしゃべりをしながら楽しく取り組み、可愛くてそれぞれの個性が際立つリースが出来上がった。

今回作られた作品は、五十周年記念式典の際に展示されました。

楽しく酪農を続けて美味しい牛乳を…

えふ・すういーる全道交流会

十一月十六日、えふ・すういーるでは、全道で活躍する女性酪農後継者と交流を深めるために、札幌方面にて全道交流会を開いた。

交流会には、えふ・すういーるの会員ら五名、湧別町から参加した五島さんを含めて六名が出席。メンバーは、この日のために二週間前から計画的に仕事をを行い、疲れが取れないまま当日を迎えた人も多かったようです。

初日は、ホクレン金内さん他二名の引率でJ A道央江別支所へと向かい、江別ミルクレディース倶楽部との交流会となった。

ミルクレディース倶楽部は会員総数十数名と聞いていましたが、当日は五名の会員が参加。ミルクは、明るい笑顔と笑い声でパワーを感じる人達ばかり、メンバーはその場の雰囲気圧倒されるばかりでした。

その後、昼食をとりながら自己紹介や経営概要を説明。ミルクの人たちは、えふの話しを真剣に聞き、明るく質疑応答がなされるなど、えふとミルクの交流は深まりました。

ミルクは「私たちの集まりは楽しくやっていると話し、飲み会もするし、ミルクに関係ない近所の人も呼び、勧誘もしない、強制もしないとのことであり、無理すると長続きはしないとハッキリ言っていた。

最後は、牛を飼っている私たちが楽しくしていれば、牛にも伝わり、美味しい牛乳が搾れる。もしイヤな気持ちでやっていたら、牛が病気になる。そういう気持ちを持って酪農に取り組む江別の奥様たちでした。



ミルクとの交流会
ミルクのパワーに圧倒



ミルクレディース倶楽部と
記念撮影



長井牧場にて農場視察



この日は寒く、施設見学は短めに…

「ありがとう、またきこね」と 園児から感謝されたふれあい学習会

えふ・すういーるでは、幼稚園に通う子供たちに酪農(牛)の事をもっと知ってもらおうと、十一月六日計根別幼稚園にてふれあい学習会を開いた。

学習会には、メンバー四名(河合、小西、笹島、有原)が参加。メンバーを代表して有原さんが挨拶をすると、園児のみんなは「お座り」をして行儀良く話しを聞き、紙芝居でも笹島さんの話しに釘づけとなり、誰一人としてふざけたり、ぐずったりすることも無く、最後まで真剣に話しを聞いていました。

その後、身体と気持ちをリラックスさせるために、メンバー自らで描いた牛のさまざまな絵を使ってクイズをしました。園児たちは「正解となる絵に飛びつくように」「こっち!こっち!」「やったあ!やったあ!」と大はしゃぎ。時には子どもたちに押されて尻もちをつく場面もありましたが、園児の笑顔を見てメンバーもとても嬉しそうでした。ぬりえでは、好きな色のクレヨンを使って、牛さんに色を塗りました。年長さんにもなると牛にリボンを描いたり、紙の空いた部分に星やハートを描いたり個性豊かな牛さんが出来上がりました。

最後に、小西さんから終わりの挨拶とプレゼントを渡して学習会も無事終了。メンバーも幼稚園から帰ろうとしていた時、園児のみんなが声を揃えて「ありがとう。また来てね」とお別れの言葉が贈られました。



園児にミルクを配るメンバー



子供と一緒に楽しくぬりえ。



大騒ぎとなったクイズ大会。バンザイ。



健康飲料の原点は牛乳、 ロール看板設置

J A 計根別青年部



トラクター、ラップマシーンで効率良く作業が進みました



全員で看板の文字作成!! 手が冷たいよーっ!!

青年部では、本年度も道行くドライバーに牛乳の消費拡大を呼び掛けようと、十一月一日計根別く中標津線の道沿いにロール看板を設置した。

ロール看板づくりも作業分担がなされ、ブラシカッターによる草刈、トラクターによるロール運びやラッピングなど手際良く作業が進められた。

また、今年のロール看板は、青年部の各支部に標語を募集、三役で内容を検討した結果「元祖健康飲料＝牛乳」というメッセージにしました。このメッセージは、消費者自らの健康管理を目的に、健康飲料の原点は何か？を問い掛け、牛乳を強くアピールしたいという思いが込められています。

このロール看板を見て一人でも多くの消費者が牛乳を飲んでくれることを期待します。

部員相互の親睦を深めた ボウリング大会

十一月二十八日、青年部上標津支部と養老牛支部では、支部や部員間の親睦を深めることを目的に毎年恒例となった親睦ボウリング大会をウコウボウルにて開いた。

ボウリング大会は、青年部員五十名が参加。今年は農協女子職員七名を迎えて部員と職員の親睦も深めたボウリング大会となった。

この日は、二ゲームのトータルポイントで競技が進められ、会場内ではストライクやスペアを取るたびに各レーンから大きな歓声と拍手が巻き起こるほどでした。

また、プレー中も各レーンでは仕事やプライベートの会話で盛り上がり、先輩、後輩部員との交流も深まる有意義なものとなりました。

【ボウリング大会結果】

- 優勝 杉本聡史くん (西 竹)
- 準優勝 中村正博くん (養老牛)
- 三位 鈴木直良くん (西 竹)



見事に優勝した杉本聡史くん



ダメだったけど「イエーイ」元気な田中くんでした



各レーンでは笑い声が絶えず、とても楽しいボウリング大会でした

400名を集め大好評となったランチパーティー

J A根室地区青年部連絡協議会、根室地区酪農対策協議会では、昨年の「チーズd'e晚ごはん」に引き続き、牛乳・乳製品や道産米を使った料理の試食会により、消費拡大を呼び掛けようと十一月二十一日中標津町寿宴にて「北海道を食べようランチパーティー」を開いた。

このイベントには、中標津町内の一般消費者を中心に約四百名が参加。チーズ料理を主体に七品目の料理が提供された。また、会場内には、地区女性協会の「ミルクバー」やJ A中標津の牛乳試飲コーナー、J A計根別による乳製品ギフト販売などのブースも設けられ、来場者から大好評となった。

さらに、北大名誉教授仁木良哉氏による講演会では、牛乳・乳製品の正しい評価や優れた食品としての位置づけを学んだ。イベントの締めは、各J Aや関係機関から提供された豪華賞品を取り揃えての大抽選会で会場は大いに盛り上がった。



牛乳とヨーグルトの試飲も大好評



会場を埋め尽くす400名の来場者



JAなかしべつと役場で牛乳・乳製品をPR



女性部によるミルクバー開場から大忙し!!

根室地区J A青年部大会

「CHALLENGE」

「牛乳を知ろう、そして知ってもらおう」

地区青年部連絡協議会では、「CHALLENGE」〜牛乳を知ろう、そして知ってもらおう〜を大会テーマに、十一月二十二日寿宴にて根室地区J A青年部大会を開いた。

青年部大会には、管内J A青年部から盟友約百名、関係機関約二十名が出席。江崎会長から「自らが出来ることを考えて、未来に繋げる酪農経営を実践して欲しい」との挨拶で開会された。

記念講演には、北大名誉教授仁木良哉氏を招き、大会テーマである「牛乳を知ろう、そして知ってもらおう」をタイトルに約一時間の講演となった。

その後、同じテーマで仁木教授

を座長として、江崎会長や水沼会長（女性協）をはじめと

するメンバーでパネルディスカッションが行われ、牛乳に対する討論や消費拡大を目的とした取り組みなどの意見が交わされた。

また、標津、中標津、西春別、根室の四支部から代表者が出場したJ A青年の主張発表大会は、J A中標津の金子雄司くんが見事に全道大会出場を決めた。

最後は、各J A青年部対抗によるアームレスリング大会。各青年部から力自慢の盟友が集結、全道大会出場のキップを懸けて熾烈な戦いが繰り広げられた。当青年部からは久保拓伸くん（上標津）が代表者として出場したが、惜しくも二回戦で敗退となった。



講師：北大名誉教授 仁木氏



来賓挨拶をする 道青協 長屋副会長



パネルディスカッションでは牛乳をテーマに各団体代表から意見が出された



アームレスリング大会!! 惜しくも2回戦で敗れた久保拓伸くん

THE FRIEND CONNECTION

齊藤 剛士(大成支部)
S52.6.29生 29歳

- Q1. あなたの趣味は?
A1. 乳触り!!何の?
Q2. あなたの特技は何ですか?
A2. 部屋掃除
Q3. 好みの女性は?
A3. 乳器フェチなので、条件が合えば誰でもOK!!
Q4. 将来の目標は?
A4. 目指せ!!農協組合長
Q5. あなたの夢は何ですか?
A5. 子供に食わせてもらえるように教育すること!!
50歳で隠居生活
Q6. 友達を紹介してください
A6. 小西宏晃くんです。
Q7. なぜ小西くんを選んだのですか?
A7. 既に打ち合わせ済みだから…



月別乳量や分娩頭数の記帳内容を説明

営農課では、生乳減産体制下での厳しい酪農情勢が続くなか、より精度の高い生産計画と所得に見合った農業支出、生活費を心掛け、十二月に迫った新年度の営農計画書樹立に向けて、十一月二十七、二十九、三十日の三日間により営農計画樹立準備講習会を開いた。

講習会には、青年部員を中心とする約三十名が参加。営農課の指導のもと農業所得の大半を占める生乳生産計画から作業を進めた。

経営内容の把握と 営農計画作成に取り組む青年部員

営農計画樹立準備講習会

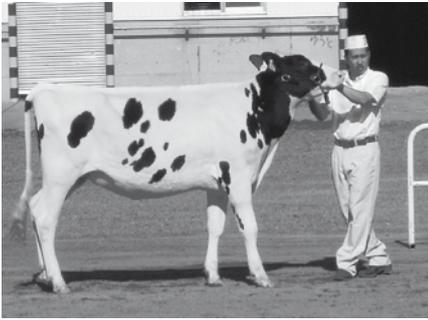


個体毎に生産乳量を記録、新年度の生産計画に取り組む青年部員

生産計画では、計画書に個体毎の乳量を書き込み、月別の乳量や分娩予定頭数を把握するなど、現実的な数値により新年度の生乳生産が予測された。また、今年パソコンを持参する参加者も増え、乳検成績を見ながら繁殖状況や乳量データを打ち込み、積極的に取り組む姿も多く見受けられた。

さらに、本年度の組勘収支状況を確認しながら、細かな費用も見逃さず、経営内容の把握と新年度の営農計画書作成に取り組む充実した講習会となった。

今年度の締めはイースタン 第23回イースタンフェア



十月十四日、釧路市釧路農協連共進会場において第二十三回イースタンフェアが開催され、当農協から七戸九頭が出展した。今年度の締めとなる共進会は、とてもリラックスした雰囲気のほか、他管内の出品者との交流を深め、若手会員も毛刈りの技術を学べるなど、実り多い共進会となり、来年度の計根別ホルスタイン牛の更なる飛躍が期待されます。

【計根別審査結果】

審査員：天野洋一氏（更別村酪農家）

1部8位	リッチラブスカイラク	ゴールドウイン	村上宗義
1部9位	ラッキーファームロンリーセプテンバーチャップリン		漆原俊之
2部5位	メルティリッジダンディートミー		本田正志
2部9位	BYデリアスターET		滝本周太
3部8位	ラッキーファームボーレットチャールズ		漆原俊之
3部10位	BYミステリーセプテンバージャスティン		滝本周太
3部11位	プラムツリーニッキー	ダンディー	穴戸洋行
4部7位	ブルームーンアーリー	ボストン	永利嘉成
5部3位	プラムツリーレックロイスター		穴戸洋行



毛刈りの実演を真剣に見つめる会員

計根別農協乳牛改良連合会では、個体の有利販売を目的として、十月三十日J A計根別家畜消流センターにて毛刈り講習会を開いた。講習会には、乳改連会員二十名が参加。前日から乳牛の洗体を行うなどの準備を進め、当日の講習会を迎えた。講師には販売事業部大矢根係長を招き、シヨウウ向けとは違い、乳牛販売で付加価値を高める毛刈りのポイントの説明、牛体にメリハリを付け、蹄、首、背腰を中心に熱心な指導がなされた。

また、この日は参加者全員により十一月二日に開催される優良牝牛セールと一般市場に向けて販売牛の毛刈りを行った。これをキッカケに乳牛改良のみならず、乳牛の価値を高める技術を学び、今後の個体販売に活かされることを期待します。



セールに向けて毛刈りを行う乳改連会員



毛刈りのポイントを説明する大矢根係長

個体の有利販売を目的に 毛刈り講習会を開催

計根別農協乳牛改良連合会



「MUN(乳中尿素態窒素)」を 見えていますか？

乳量旬報や乳検速報に記載されているMUN（乳中尿素態窒素）は、給与飼料のエネルギーとタンパク質のバランスを表わす指標です。バルク乳のMUNと乳蛋白の数値、および糞や被毛のツヤの状態などをチェックすることで、おおよその牛群の栄養状態を判断することができます。

特にMUNが高い牛群では、授精回数が多くなり、空胎日数が長くなるなど繁殖成績が悪化する傾向が見られます。

(1) MUNと乳タンパク率の関係 (バルク乳)

MUN (mg/dℓ)	14以上	高 MUN 低 乳タンパク ①	高 MUN 乳タンパク適正	高 MUN 高 乳タンパク ②
		エネルギー不足 給与タンパクの過剰	給与タンパクの過剰	エネルギー過剰 給与タンパクの過剰
	14 5 10	MUN 適正 低 乳タンパク	適正範囲	MUN 適正 高 乳タンパク
		エネルギー不足		エネルギー過剰
	10以下	低 MUN 低 乳タンパク ③	低 MUN 乳タンパク適正	低 MUN 高 乳タンパク ④
		エネルギー不足 給与タンパクの不足	給与タンパクの不足	エネルギー過剰 給与タンパクの不足
	3.0 以下	3.0 ~ 3.4	3.4 以上	

①の状態・・・牛体の削瘦(さくそう)、乳房炎など疾病の多発、受胎率の低下。
放牧牛群に多い。

⇒ [タンパク濃度の低い飼料銘柄を選択し、ビートパルプなど繊維源の補給、コーン、大麦などエネルギー飼料を増やす。
放牧期はバルク乳MUNを1.6程度までに抑える。]

②の状態・・・牛体の過肥、乳房炎など疾病の多発。給与飼料が無駄になっている。
⇒ [エネルギー濃度およびタンパク濃度の低い銘柄を選択するか、配合給与量を減らす。]

③の状態・・・牛体の削瘦、乳量の低下、疾病の発症、乾物摂取量の絶対量が不足。

⇒ [粗飼料、濃厚飼料を増やす。]

④の状態・・・牛体の過肥、乳量の頭打ち。

⇒ [タンパク濃度の高い飼料を給与し、エネルギー濃度を下げる。]

乳タンパク (%)

(2) MUNと乳タンパク率のおおまかな傾向

MUN	高い	受胎率の低下や繁殖障害、疾病の多発。 有毒なアンモニアを尿素に解毒するために肝臓機能を酷使するので、エネルギーの浪費や肝機能障害、免疫力の低下が起こる。
	低い	タンパク不足による繁殖成績の悪化や乳量の低下が起こる。
乳タンパク率	高い	過肥傾向。
	低い	削瘦傾向。乳量の低下や繁殖障害が起きやすくなる。

(3) MUNと飼料給与形態の関係

TMR体系	MUNは10~12前後で、年間をとおして変動は少ない。
ロールパック体系	品質の差による影響を大きく受けるため、MUNの変動幅が大きい。
放牧期	放牧草は分解性タンパクが高く、MUNは14~16前後と高めに推移。 繊維やエネルギーを充足させないとMUNはさらに上昇する。

(4) まとめ

牛の栄養状態や繁殖成績の悪化は、一概にMUNだけで説明することはできませんが、それでもMUNの動向を注視しながら、粗飼料と濃厚飼料のバランスを考えて適正範囲に近づけることで、おおかたの牛を健康な状態で飼うことができます。

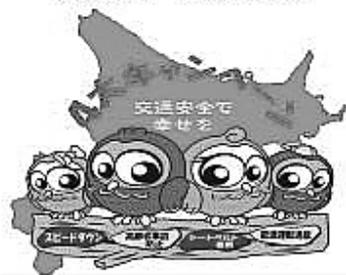
ここで大事なことは、個体毎のMUNにとらわれすぎずに、あくまでも牛群全体のバルク乳のMUNの動向をチェックすることです。

(1) のMUNと乳タンパク率の関係図を参考にしながら、飼養管理技術向上に役立ててください。

中標津警察署 交通安全情報

北のひろめーる No.9

平成18年11月29日



教習生による飲酒運転追放キャンペーン 11月25日(土) 中標津町自動車学校が街頭啓発を実施



酒気帯びの呼気検査拒否した場合も
30万以下の罰金
だよ



酒酔い運転は3年以下の懲役または、50万
以下の罰金で即免許取消です。

「飲酒運転追放」 タスキと安全旗を掲げ、通行車両に安全運転を呼びかけ



～職員・教習生の皆さん、ご苦労様でした～



飲酒運転追放3箇条

乗らない！ 飲ませない！ 同乗しない！

e-Taxによる税申告を学ぶ 計根別農協青色申告会



計根別農協青色申告会では、会員に税務の知識を高めることを目的として、十一月八日農協二下会議室にて平成十八年度税務講習会を開いた。

当日は、会員十八名が参加。青色申告会唐崎会長は「年に一度の講習会ですが、税務署の方を講師に招いておりますので、この機会に税務の事を十分学んでください」と開会を告げる挨拶があった。

講習会は、根室税務署松田調査官を講師に招き、所得税や消費税の詳細説明と誤りやすい事例が話された。その後、講習会のメインとなったのはe-Tax（電子申告）。このシステム最大のメリットは、自宅や事務所からの申告や納税が可能となり、利用回数、件数の多い源泉所得税毎月納付などの手続きに高い利便性を発揮することとした。

今後は、国税庁などを中心にe-Taxの普及に努めることとなりますが、青色申告会や農協としても、どのような対応が求められるのか？時代の変化に不安が残る講習会となりました。



講師：根室税務署 松田調査官



講習会の開会を告げる唐崎会長

12月は道税の納税推進強調月間です

根室支庁では、12月を『納税推進強調月間』として、道税の納税推進に取り組み、滞納整理の促進に努めます。

道税は、住み良い地域社会を作るための貴重な財源です。みなさんの暮らしを支える道税の納税にご協力ください。

なお、12月25日（月）は、中標津町役場において、夜間納税窓口を午後8時まで開設します。

（問い合わせ先）

納税に関するご相談は、
根室支庁地域振興部税務課納税係まで
(0153) 24-5466（税務課納税係直通）



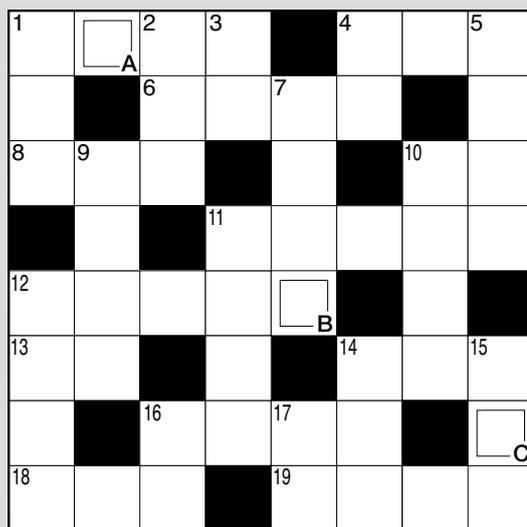
【タテのカギ】

- 1 年末に、お世話になった人に贈る
- 2 外国の硬貨
- 3 モ〜!
- 4 焼き鳥を食べた後の皿に1本、2本…
- 5 男の子は手編みのをもらうと喜ぶとか
- 7 気球、風船
- 9 芸能人のこと
- 10 東から昇り西へ沈む
- 11 さらさらした粉雪。○○○○スノー
- 12 アテネ五輪で何度も流れました
- 14 高〜い買い物をするときに組む
- 15 四字熟語・○○○錯誤
- 16 ゴホッ! ゴホッ! 風邪をひいたみたい…
- 17 無料、0円

【ヨコのカギ】

- 1 冬型の気圧配置。○○○
○東低
- 4 道路が凍結しているときは運転に注意!
- 6 慎重な人は叩いて渡る!?
- 8 イノシシの肉を使った○○鍋
- 10 「鱈」と書く冬が旬の魚
- 11 ドレスやタキシードを着て出席
- 12 孫悟空の乗り物
- 13 茨城県の県庁所在地
- 14 12月14日は赤穂○○○が討ち入りをした日
- 16 カウチン○○○○、アラン○○○○
- 18 入れ物。ピンや缶もこの一種
- 19 コタツやストーブは○○○○器具

クロスワードパズル



● 正解者5名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。

《応募方法》左下の点線の部分を事務所内(販売機横)の投書箱へ。または、組織広報係までFAX(78-2556)お願いします。

《締め切り》平成19年1月15日まで

当選者の発表は「けねべつ」2月号誌上

クロスワードパズル11月号の答え

ジユウ

抽選の結果下記の方が当選いたしました。
すてきなプレゼントを差し上げます。
組織広報係でお受け取り下さい。

本田 晃太さん 桜井 理恵さん
齊藤 長市さん 砂越 瑠李さん
田中 悠華さん

きりとり線

クロスワードパズル

住所

氏名

TEL

答え

A

B

C

きりとり線



あしがき

今年も残すところあと僅かとなり、寒さも厳しさを増す今日この頃ですが、組合員皆様は年末を迎えて何かと忙しい毎日をご過ごされていることと思います。

さて、十二月はというと新年度に向けた営農計画書の樹立が始まりました。先日も各地区協議会単位で説明会を開き、厳しい酪農情勢や計画書樹立に向けた基本方針が農協より説明されたと思います。

今年、生産調整、乳価下落、資材・燃料の値上がりなどが影響して組勘収支を圧迫する結果となりました。今後もこのような状況が続くと予想されますので、例年以上に経費や生活費を抑えた酪農経営に取り組んで頂きたいと思えます。



ミバレーボール交流会

11月18日、バレーボール交流試合「ミルキ一杯」が開かれた。この交流試合は、武佐、俵橋、養老牛、計根別の小学校により、子供たちの親睦を図ることを目的として例年開催されているようです。この日も子供たちの元気溢れる好プレーや珍プレーが続出、父兄や観客からの大歓声で会場は大いに盛り上がった。



編集／計根別農業協同組合 営農部 営農課 組織広報係
発行日／平成18年12月1日

今年も一ヶ月を残すだけとなり、厳しい一年が終わろうとしています。寒さも加わり心も体も寒々しい年末になってしまいました。

先般の営農計画樹立説明会も例年に習わず、地域に向き酪農情勢の深刻さをより理解して頂き、経営姿勢の転換、生活様式の改善を訴えたところ。次年度に向けても酪農環境の好転は見込めませんので、早急に個々の経営内容を分析し、改善を実行しなければなりません。

このような時に気になる事を耳にしますが「赤字は自分だけではない、仲間がたくさんいる」「この状況では仕方がない」と漫然と話されている方がいます。一昔前であれば「赤信号、皆で渡れば怖くない、恐くない」で大半の者が生き残りましたが、現代の流れは違います。

現状認識の甘い人や流れについていけない人は、どんどん追いついていかれ、やがては弾かれます。この時節をしっかりと把握している方は、事前に家族皆で気持ちを入れ換え、経営にも生活にも我慢と忍耐を貫き、次のステップへの心構えに留意しております。

現在の状況が厳しい方も他力本願ではなく、簡単に諦めない強い自立の気持ちを家族全員で持つて経営に励んで頂きたい。また、農協も出来るだけの支援を考えているところです。

結びに、この一年間組合員の皆様方に多くのご支援を頂きました事に心より感謝申し上げますと共に、穏やかな年越しを迎えられます事を念じて筆を置きます。

平成十八年十二月一日 額額 成喜

いざなぎのこと
あるけど
明日は
きっと
いいこと
あるから
だから
もうすこし
がんばろうよ
自分に